

平成 23 年 9 月 2 日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 1 番 高 橋 豪

平成 23 年 9 月 2 日
午前 8 時 40 分 受領

発 言 通 告 書	発 言 の 種 別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>行政は本気で若者の声を聞くべき！！ これからの高齢化社会を支えるのは若い衆だ この町が残るも残らないも、将来を支えて行く若者にかかっている</p> <p>1. 高校や大学を卒業しても果たして働く場所はあるのか 若者に対する雇用対策、定住対策について問う</p> <p>① 若者が依然として町を離れて行く現状をどう見るか？</p> <p>② 少子高齢化対策はすなわち雇用対策でもある。本市の取り組みの現状と結果や課題について伺う。</p> <p>③ 地元に住みたい、地元で子供を育てたいという若者の思いに応えるような、定住政策に関する本市の取り組みや現状、課題について伺う。</p> <p>④ 所得 10%UP を掲げる上では働く場所の創造、確保が大前提である。これまでを検証した場合、どの程度雇用が増え、どの程度所得が UP しているのかを伺う。</p> <p>2. 子供を増やせとは言いが子育ては本当に大変だ 支援策全般を問う</p> <p>① 子供を 3 人、4 人と多く抱える世帯ほど、少子化に歯止めをかけていることになるが、こうした世帯ほど子育てには金もかかるし、手間暇もかかる。行政としてはこういった部分に手厚く支援することが、少子化対策の一つでもあると考えるが、本市独自の支援策について伺う。</p> <p>3. 子育てと仕事の両立を 待機児童を一人残らずなくせ！！ 現状と対策を問う</p> <p>① 3 月議会の施政方針では待機児童の解消を掲げていたが、本市保育所においては 7 月現在の待機児童は 30 名以上となっており、昨年から特に変化がないようである。待機児童を一人残らずなくす対策を伺う。</p>		

4. 子供の医療費助成の範囲拡大はどうなったか せめて小学校卒業までは無料に

- ① 子供の医療費助成の範囲を、現在の小学校入学前までから、せめて小学校卒業までに助成範囲を拡大できないかどうかについて以前か何度も議論してきた。検討する旨の答弁はあるが今回はその結果と、出来るか、出来ないかを伺う。

上記の通り通告します。

番 号 2

平成23年9月2日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 20番 稲 田 修

		平成23年9月 2日 午前 9時55分 受領	
発言通告書	発言の種別	一般質問	
発言の要旨			備考
① 門脇市政運営の基本姿勢を再度問う (イ) 行財政改革について (ロ) 社会資本（インフラ）整備について (ハ) 市民サービスと人口減少の対応について			
上記の通り通告します。			

平成23年9月2日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 13番 小林 幸 悦

		平成23年9月 2日 午前10時43分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. 角館高校、角館南高校の統合にむけた市の対応は</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域に根ざした学校にしていくために、県教育委員会にどのような要望をしているのか。 ○両校のPTAや同窓会に対して新高校について話し合いはしているのか。 ○市として新高校をより充実した望ましい高校にするための支援を考えているのか。 ○新高校について、数回にわたり校舎プラン等、様々の施設について説明がなされていると聞いているが、市ではどのような要望をしているのか。 ○市教育委員会ではこの問題について話し合い等しているのか。 ○定時制独立校舎の設置及び大曲養護学校 分教室の併設については、どのような要望をしているのか。 ○統合に関して、市と市民が一体になって参加・協力していく協議会の設置は。 <p>2. 市立角館総合病院の改築について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○改築される市立角館総合病院の開院が予定されている26年の10月頃とすれば、今後用地取得はじめ多くの事務作業があると思う。予定通りの開院は可能か。 <p>3. 桧内川堤の「桜」保護対策は</p> <ul style="list-style-type: none"> ○野鳥「ウソ」により桧内川堤の桜に大きな被害が出ているが、今後の対策は。 			
上記の通り通告します。			

平成23年9月1日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 9番 黒 沢 龍 己

		平成23年9月 1日 午前 8時00分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. 種苗交換会開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、市としての進捗と取り組み状況について ・ 課題解消について ・ 大仙市、美郷首長の意見、話し合いは ・ J A秋田中央会会長、おばこ組合長との話し合いは <p>2. 中川保育所の今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化の進んでいる保育所の建て替え計画は ・ 今後の園児数はどのような推移になるのか ・ この先統合や廃園等の考え方、見直し計画は ・ 未満児を受け入れるにあたって条件等は 			
上記の通り通告します。			

平成23年9月2日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 19番 高 久 昭 二

		平成23年9月 2日 午前 8時40分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1) 門脇市政の一部見直しを求め、市民生活を守る市政について。</p> <p>① 門脇市政（マニフェスト含む）の一部見直しと自然エネルギー推進（木質バイオマス含む）について。 （東日本大震災、福島原発を受けて）</p> <p>② 市民生活を守る市政について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今、市民が求めている事、特に雇用創出について。 （自然エネルギー事業、総合産業研究所等含む） ・ 義務教育（中学校卒業迄）「医療費無料化」実施について。 			
上記の通り通告します。			

番 号 6

平成23年9月1日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 3番 門 脇 民 夫

		平成23年9月 1日 午前 9時40分 受領	
発言通告書	発言の種別	一般質問	
発言の要旨			備考
<p>1. 仙北市の自然エネルギーの活用について伺う</p> <p>再生エネルギー特別措置法が、先月国会で成立しました。再生エネルギーである、自然エネルギーの仙北市での活用について伺う。</p> <p>2. 防災について伺う</p> <p>① 東日本大震災により、仙北市地域防災計画の見直しを進めていると思慮されますが、その進捗状況について。</p> <p>② 市管轄施設の避難訓練実施状況について。</p> <p>③ 国道、市道に架かる橋の耐震化について。</p>			
上記の通り通告します。			

平成23年9月2日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 16番 八柳 良太郎

		平成23年9月 2日 午前 8時25分 受領	
発言通告書	発言の種別	一般質問	
発言の要旨			備考
<p>1 桜木内川・古城山のさくらの景観維持について</p> <p>今年は例年に比べて桜木内川堤の桜は非常に花の出来がよくありませんでした。古城山の桜は例年通り全く駄目でした。</p> <p>かなりの市民から「今年の桜はよくなかったしな」と言われました。今年は例年に増して木の上部に桜が少なく、そのため色が揃いませんでした。</p> <p>全国から観光客を誘致するのに桜が良くないのでは、「角館の人は親切だった」などといわれても、おもてなしの心は通じません。まずは「さくら」を見に来るのですから。</p> <p>もう7, 8年も前ですが、古城山の桜の出来もよくて、桜木内川の桜もきれいな年がありました。</p> <p>現在は桜の管理をきちんとすれば色艶のいい桜を全国の方々にお見せできる時代になってきたのではないかと思います。</p> <p>(1) 古城山・桜木内川の桜の出来の悪い原因はなにか (2) 全国に誇れる桜の景観を維持する施策はないか</p> <p>2 がんばろう仙北について</p> <p>震災が被災地に与えた被害は壊滅的ではありますが、被災地でもない仙北市も又今まで経験したことのない二次被害に遭遇しています。</p> <p>その原因は、原発事故が東北へ来ることを激減させてしまったことでもあります。その状況については特に観光産業に著しく表れており、観光協会の言葉を借りれば、「危険水域」に入っているということでもあります。</p> <p>観光協会の調査によれば、宿泊業、土産店、飲食店、鉄道・運輸、一般小売りの観光関連業種は昨年と今年の3月から5月までの観光関連業</p>			

種の売上げは、いい業種で50%台、悪い業種は30%台である。6月は50%から70%であるとのことであります。

かなりの緊急経済対策を実施してもらっていますが、いまだかつてない未曾有の危機でありますので秋の観光シーズンに向けてもう一段の経済対策を熱望するものであります。

(1) 観光産業の打撃により暮らしに影響が出ていると思われるが、企業倒産はないか。又従業員解雇、自宅待機等はどのようになっているか。

(2) 観光客あいての業種の苦戦は相変わらず続いている。

① 2000円券1000名様宿泊クーポン券と500名に5000円の利用券の利用状況はどうか。利用期限の7月31日でおの何%の利用か。

② 8月1日スタートの5000円500組の宿泊ファミリー券(期限12月31日)の応募状況はどうか。

③ 観光協会連携事業費補助金の宿泊クーポン券の利用率はどうか。

(3) 市外、県外客主体の観光客対象のプレミアム商品券は考えられないか。

過日実施のプレミアム付商品券の中に189枚が仙北市を除く市外・県外の人に販売されている。

福島県猪苗代町の観光協会は昨年プレミアム分20%の商品券1万円券を3000セット販売しています。売上げの内訳は県外60%町外30%です。

宿泊業・土産店・飲食店・鉄道・運輸・観光施設など観光業の方たちを主体にして、県外の人にはわざわざ来てもらうのですからプレミアム分を20%にする事業を、これからの秋のキャンペーンに間に合わせられないでしょうか。

財政的に余裕がないのは分かりますが、今年度交付税が約6億円ほど増えることが確定したところですし、「観光産業を活かしたまちづくり」は仙北市の基本理念でありますので、経済ダメージから市民の暮らしを守るための施策と考えますが検討願えないか。

上記の通り通告します。